

川口市マスコット
きゅぽらん

ようこそ、川口へ!!



一人ひとりへ温かいまなざし

川口短期大学



学校と外部講師が連携した 効果的ながん教育の推進

川口短期大学こども学科 専任講師

社会福祉士 公認心理師 臨床心理士
西内 俊朗



本日の話

- 1 はじめに
- 2 自己紹介
- 3 越谷市教育委員会及び越谷市立武蔵野中学校との連携について
- 4 「がん教育授業 ～いのちを大切にすること～」の概要版
越谷市立武蔵野中学校 2 学年生徒 1 1 0 名
- 5 さいごに
 - ・連携の意義について
 - ・がん体験者として
 - ・ご質問への回答

自己紹介

川口短期大学こども学科 専任講師

担当：社会福祉論 社会的養護他



こども学科

一人ひとりに、温かいまなざしを持った保育者・教育者に

現場で即戦力となるための力を養います。少人数教育により専門性を深め、また、演劇や栽培などユニークな体験型授業を通して、子どもたちの個性を伸ばせる理解力と指導力を身につけます。



がん教育授業の経験歴

1 越谷市立武蔵野中学校

対象：中学2年生 110名

日時：令和7年12月4日（木）50分授業

2 県立浦和第一女子高等学校（定時制）

対象：全生徒 49名

日時：令和7年12月18日（木）60分授業

3 新宿区立戸山小学校

対象：小学6年生 79名

日時：令和8年2月18日（水）40分授業

職務歴

1 川口市心身障害福祉センターわかゆり学園

平成1年4月～平成17年3月（16年間）

- ・通所知的障害者更生施設 10年（現：生活介護事業所）
- ・知的障害児通園施設 6年（現：児童発達支援事業）
- ※埼玉県障害児者地域療育等支援事業（コーディネーター）



2 川口市立医療センター

平成17年4月～令和5年3月（18年間）

- ・医事課外来係 4年
- ・総合相談室・がん相談支援センター 14年



－地域の医療機関と連携し 安全で質の高い医療を提供する－

地域医療支援病院

越谷市教育委員会学校教育部指導課との連携

- ・教育指導担当

主任指導主事の先生との打合せ

＜事前メールにての相談＞

- ・1回目：令和7年10月 3日（金）講師依頼
- ・2回目：令和7年10月22日（水）日程調整

＜本学にて打ち合わせ＞

- ・令和7年11月21日（金）9時30分～ 講演用PPのデモ

越谷市立武蔵野中学校との連携

＜事前打合せ＞

1 令和7年11月27日（木） 11時30分～13時過ぎ

ご挨拶：校長先生及び教頭先生

講演打合せ：教頭先生 担当教諭

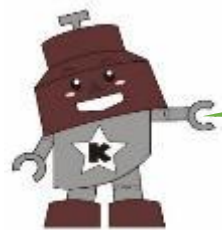
2 目的：事後学習であること

内容：中学2年生を対象

がん体験者としての体験談他

期日：令和7年12月4日（木） 11時30分～12時20分

場所：体育館



川口市マスコット
きゅぽらん

ようこそ、川口へ!!



一人ひとりへ温かいまなざし

川口短期大学



がん教育授業 ～いのちを大切にすること～

越谷市立武蔵野中学校

令和7年12月4日（木） 11：40～12：30

川口短期大学こども学科専任講師

元川口市立医療センター 総合相談室・がん相談支援センター室長

埼玉県がん教育外部講師 公認心理師 臨床心理士
西内 俊朗



本日の授業内容

1 はじめに

- ・自己紹介
- ・がん経験者として（胃がん術後17年目）
- ・川口市立医療センターの紹介（前職場）

2 がんの治療法や治療中の生活

- ・手術 抗がん剤 放射線など

3 がん患者さんへの接し方

- ・緩和ケア病棟での私自身の接し方など

4 その他

- ・質疑応答

自己紹介

胃がんサバイバー17年目です！

- 1 平成20年12月 46歳 内視鏡検査で胃がん診断確定
- 2 平成21年 1月 46歳 腹腔鏡手術で胃切除のため入院(1/9～1/31)
病理結果:印環細胞がん
- 3 平成21年11月 47歳 第1回イレウス入院(11/12～17)
- 4 平成23年10月 49歳 第2回イレウス入院(10/9～10/14)
- 5 令和 4年 1月 59歳 絞扼性(こうやくせい)イレウス開腹手術 夜8時から約6時間
- 6 令和 5年 61歳 食事はよく噛んで、ゆっくり食べてました！
- 7 令和 6年 62歳 通勤時は徒歩で、疲れたら必ず休憩！
- 8 令和 7年 63歳 現在は・・・とても元気です！

川口市・病院事業

基本理念

市民に信頼され、安全で質の高い医療を提供します



(1) 沿革

昭和20年	川口市において国民健康保険組合が事業開始
昭和22年	川口市国民健康保険組合により川口市民病院が開設 (7科90床・国保直診病院) 落成式には当時の内閣総理大臣片山哲氏が来賓として記念講演を実施
昭和26年	川口市国民健康保険組合の解散により川口市に移管
昭和34年	総合病院承認・247床
平成2年	川口医師会病院を統合。附属神根分院開設(200床)
平成6年	現在地(西新井宿)に移転、神根分院を統合し、 川口市立医療センター開設・532床
平成9年	臨床研修指定病院
平成10年	地域周産期母子医療センター・基幹災害医療センター指定
平成16年	一般病床(救命救急センター)2床増床し、病床数539床
平成18年	地方公営企業法の全部を適用 埼玉DMAT、埼玉SMART登録
平成20年	地域がん診療連携拠点病院に指定
平成21年	7対1看護体制へ移行 DPC対象病院
平成25年	日本医療機能評価機構から認定証(一般病院2<3rdG:Ver1,0>
平成30年	地域医療支援病院に指定
令和3年	本町診療所閉院
令和3年	心臓外科を心臓血管外科に変更
令和4年	病床数を510床に変更

(2) 概要

病床数：510床

一般病床 492床 ※緩和ケア18床

特定病床 救命救急8床

新生児特定集中治療室9床

ICU/CCU8床

標榜診療科：30科

地域がん診療連携拠点病院

地域医療支援病院

救命救急センター（三次救急指定病院）

災害拠点病院（基幹災害医療センター）

埼玉DMAT指定病院

地域周産期母子医療センター

臨床研修指定病院



— 地域の医療機関と連携し 安全で質の高い医療を提供する —
地域医療支援病院 川口市立医療センター

（３）診療体制

標榜診療科：29科⇒30科

- ・内科
- ・消化器内科
- ・血液内科
- ・脳神経内科
- ・呼吸器内科
- ・腎臓内科
- ・糖尿病内分泌内科
- ・循環器科
- ・小児科
- ・精神科
- ・外科
- ・消化器外科
- ・乳腺外科
- ・呼吸器外科
- ・小児外科
- ・脳神経外科
- ・整形外科
- ・形成外科
- ・心臓血管外科
- ・緩和ケア科
(R5.4.1～)
- ・産婦人科
- ・眼科
- ・耳鼻咽喉科
- ・皮膚科
- ・泌尿器科
- ・放射線科
- ・麻酔科
- ・歯科口腔外科
- ・リハビリテーション科
- ・病理診断科

特殊診療局

救命救急センター 周産期センター 画像診断センター 総合健診センター

手術支援ロボット ダビンチXi (daVinci)



川口市立医療センター
Kawaguchi Municipal Medical Center

診療受付
午前8時30分～11時00分

休診日
日曜日 / 祝日 / 第2,第4土曜日 / 年末年始

TEL
048-287-2525



受診案内



病院案内



診療科・部門



医療機関の皆様へ



採用

[トップ](#) > [病院案内](#) > 手術支援ロボット「ダビンチ Xi」導入

手術支援ロボット「ダビンチ Xi」導入

手術支援ロボット「ダビンチ Xi」導入

「ダビンチ」の特徴

診療費について

よくある質問



「ダビンチ」の特徴

導入した手術支援ロボットは、複数のロボットアームを遠隔操作して内視鏡手術を行う医療用ロボットです。

ロボット本体には3本のアームと1本のカメラが装着、手術機器の先端には270度の可動域を有する関節が7個あり、執刀医の指・手の動きのとおり操ることが可能です。また、鮮明な3Dカメラで体内を立体的に映し出すことができるので、より精密な手術を行うことができます。

1 患者様への負担が少ない

低侵襲手術で、出血量が少なく、痛みや回復期間が一般的に短縮されます。そのため、患者様の負担を軽減できるため、全体的な治療効果も向上します。

2 鮮明な3D画像

術者は、3D内視鏡カメラにより「三次元の立体的な画像」をモニターで見ることができるようになり、術中の視認性が向上します。

3 精密な動きを再現

手振れ防止機能と、自由に曲がる多関節鉗子（たかんせつかんし）による高度な操作性と可動域により、腹腔鏡手術では困難とされている手技も行うことが可能です。

手術支援ロボット 「ダビンチ」 紹介動画

川口市立
医療センター

川口市立医療センター



がんはどのように
治すのだろうか

がんの治療法

治療法は主に三つ

手術療法

放射線
療法

化学療法
(抗がん剤などの薬)

- がんの種類や状態などにより選ぶ。
- いくつかの治療法を組み合わせることもある。

がんの治療法

手術療法

手術でがんを取り除く

特 徴

- 早期のがんなら数日間の入院または通院で治療できる。
- 体への負担は大きいですが、内視鏡を用いた手術など、負担を軽減する方法も普及してきている。

がんの治療法

放射線療法

放射線でがんの
細胞を死滅させる

特 徴

- 通院で治療できる。
- 体への負担が比較的少ない。

がんの治療法

化学療法

抗がん剤などの薬により
がん細胞の増殖を抑える

特 徴

- 副作用の可能性もあるが、最近では、通院で治療できる場合も増えつつある。

治療法を
決めるとき
大切なことは
何だろう

治療法を決めるとき大切なこと

自分の病気・検査・治療などについて十分な説明を受け、理解した上でどのような医療を受けるか選択する。

患者の
価値観

相 談

希望する
生き方

十分な
説明

説明の
理解

インフォームド・コンセント

患者支援センターの役割とは・・・

2018年4月1日

川口市立医療センターは地域医療支援病院へ

重症・重篤患者・かかりつけ医からの紹介患者中心の診療に

※地域医療支援病院

：地域医療の第一線を

担う「かかりつけ医」

を支援する能力を備え、

地域医療の確保を図る

のにふさわしい構造・

設備等を有する病院と

して一定の基準を満た

す病院で都道府県知事

の承認を得たもの

かかりつけ医を持ちましょう



患者支援センター入口



患者支援センター入口



支援センター内部

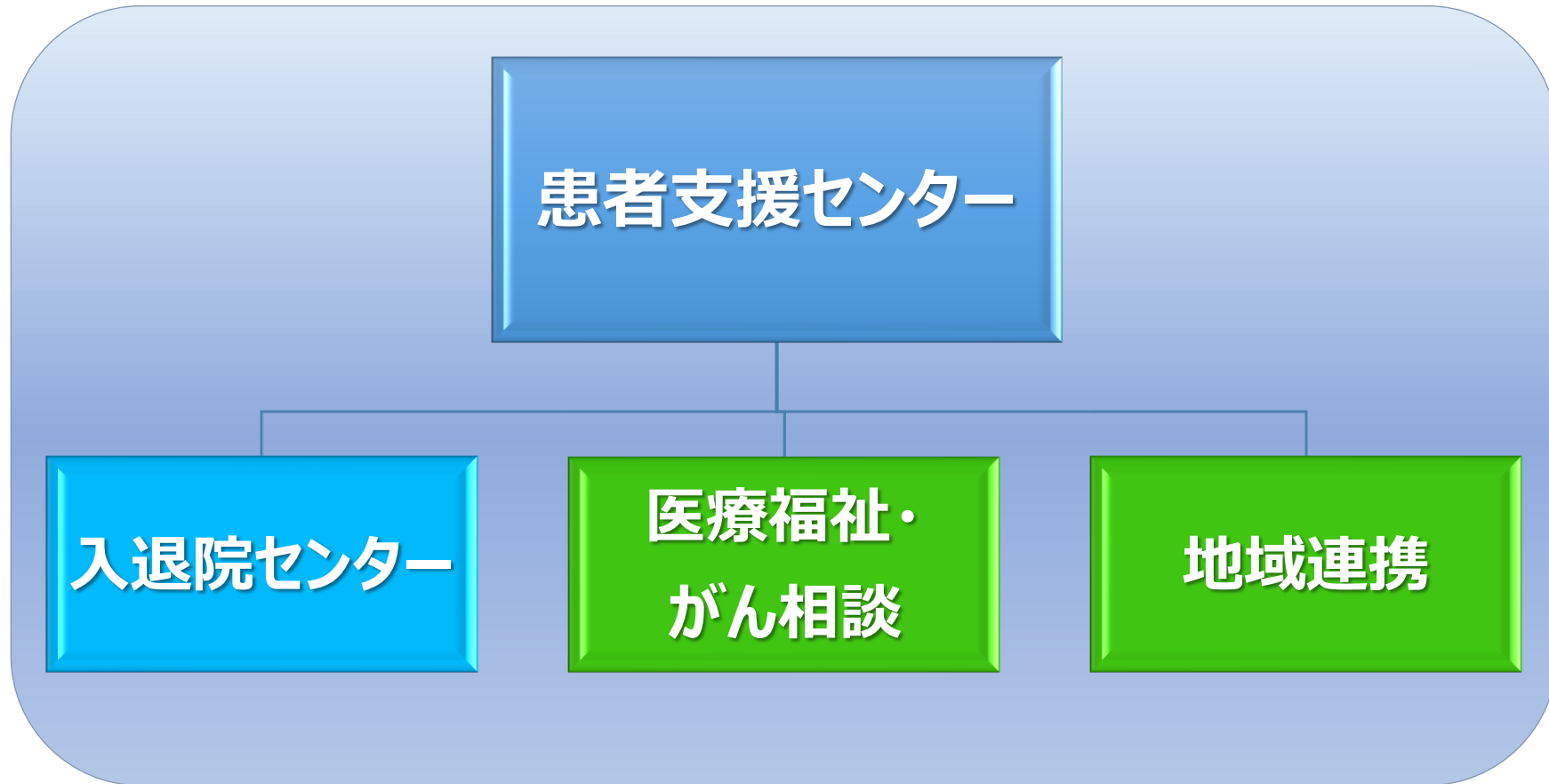


支援センター面談室

患者支援センターのイメージ



患者支援センターとは

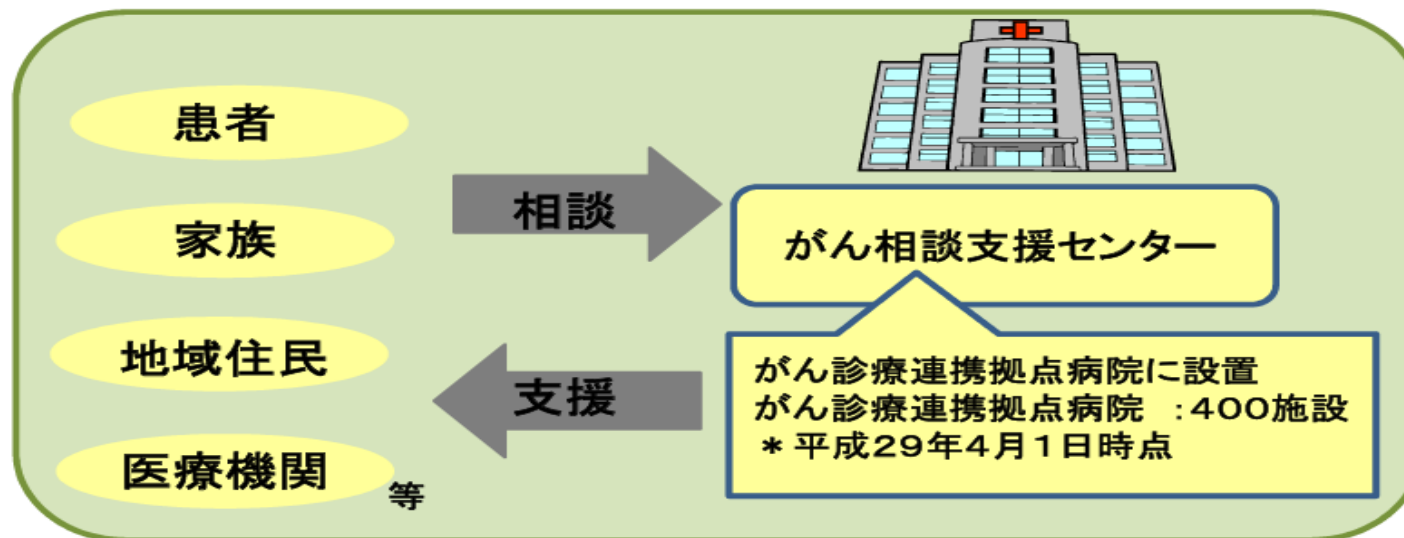


がん相談支援センター

- 全国のがん診療連携拠点病院等に設置されているがんの相談窓口。
- 院内及び地域の医療従事者の協力を得て、院内外のがん患者や家族、地域の住民及び医療機関等からの相談に対応する。国立がん研究センターがん対策情報センターによる「相談支援センター相談員研修・基礎研修」(1)～(3)を修了した専従及び専任の相談支援に携わる者をそれぞれ1人ずつ配置している。

＜がん相談支援センターの主な業務＞

- がんの病態、標準的治療法等の一般的な情報の提供
- 地域の医療機関、診療従事者に関する情報収集、情報提供
- セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介
- がん患者の療養上の相談
- 就労に関する相談
- 医療関係者と患者会等が共同で運営するサポートグループ活動や患者サロンの定期開催等の患者活動に対する支援



がん患者と
どのように接すれば
よいのだろう

Q

がんの患者の方には、どんなことが起きるのだろう

体
の痛み・
つらさ

- 吐き気でつらい。
- 体が痛くてつらい。 など

心
のつらさ

- 将来のことが不安で眠れない。
- 治療の費用が心配だ。 など



がんの治療中に支援が
必要な人は誰だろう

体

の痛み・
つらさ

心

のつらさ

がん患者だけでなく
支える**家族**にも
支援が必要。

がん治療には
どのような
支援が
必要なのだろう

がん治療に必要な支援

体

の痛み・
つらさ

吐き気でつらい。
体が痛くてつらい。

がんを取り除くだけでなく、
薬で痛みをやわらげ、
その人らしい生活を
送れるようにします。

医師

がん治療に必要な支援

心
のつらさ

将来のことが
不安で眠れない。

患者さんの不安に耳を
かたむけ、何が心配な
のかを考えるお手伝い
をします。

心理カウンセ
ラー

がん治療に必要な支援

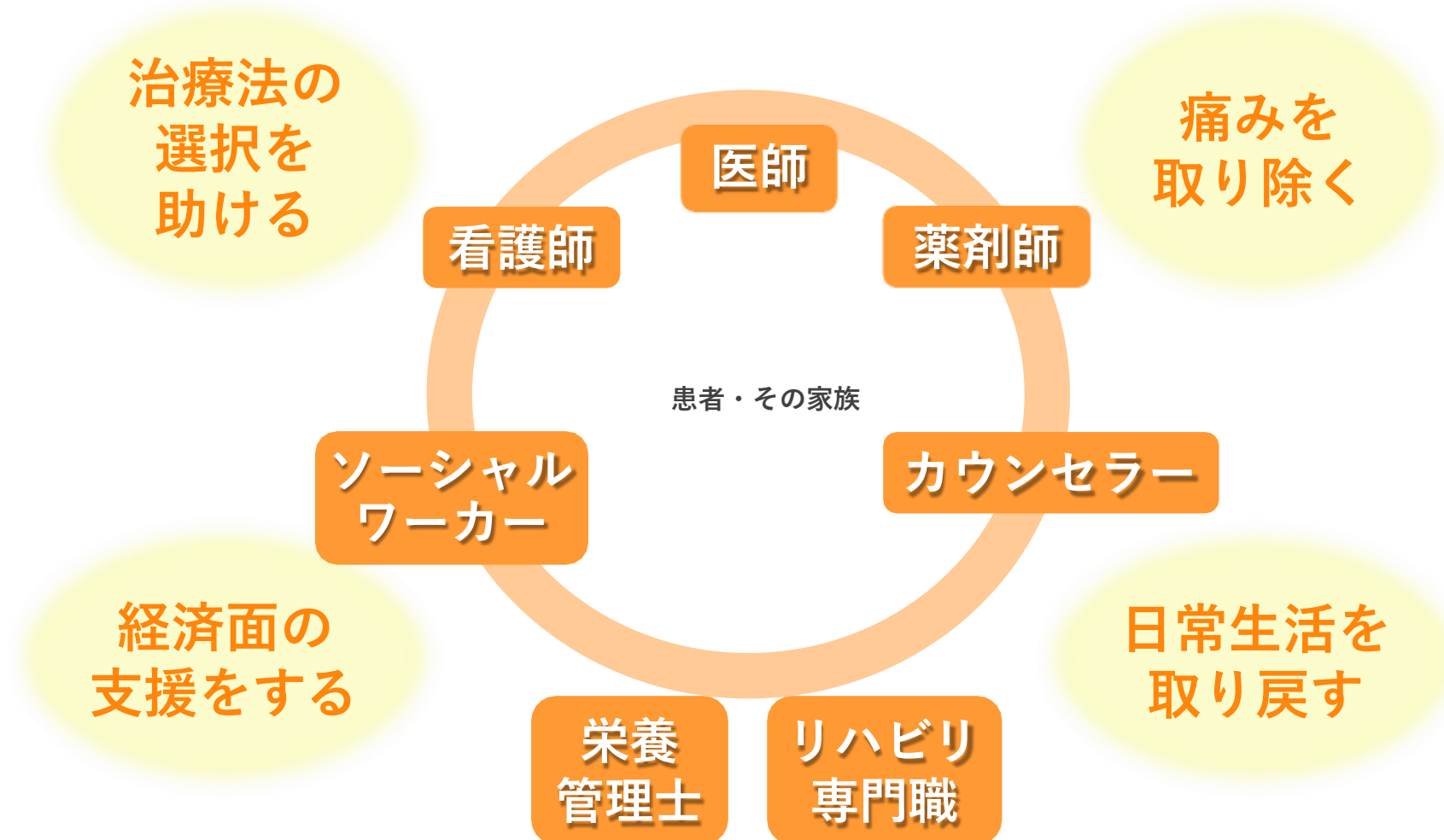
心
のつらさ

治療の費用が心配だ。

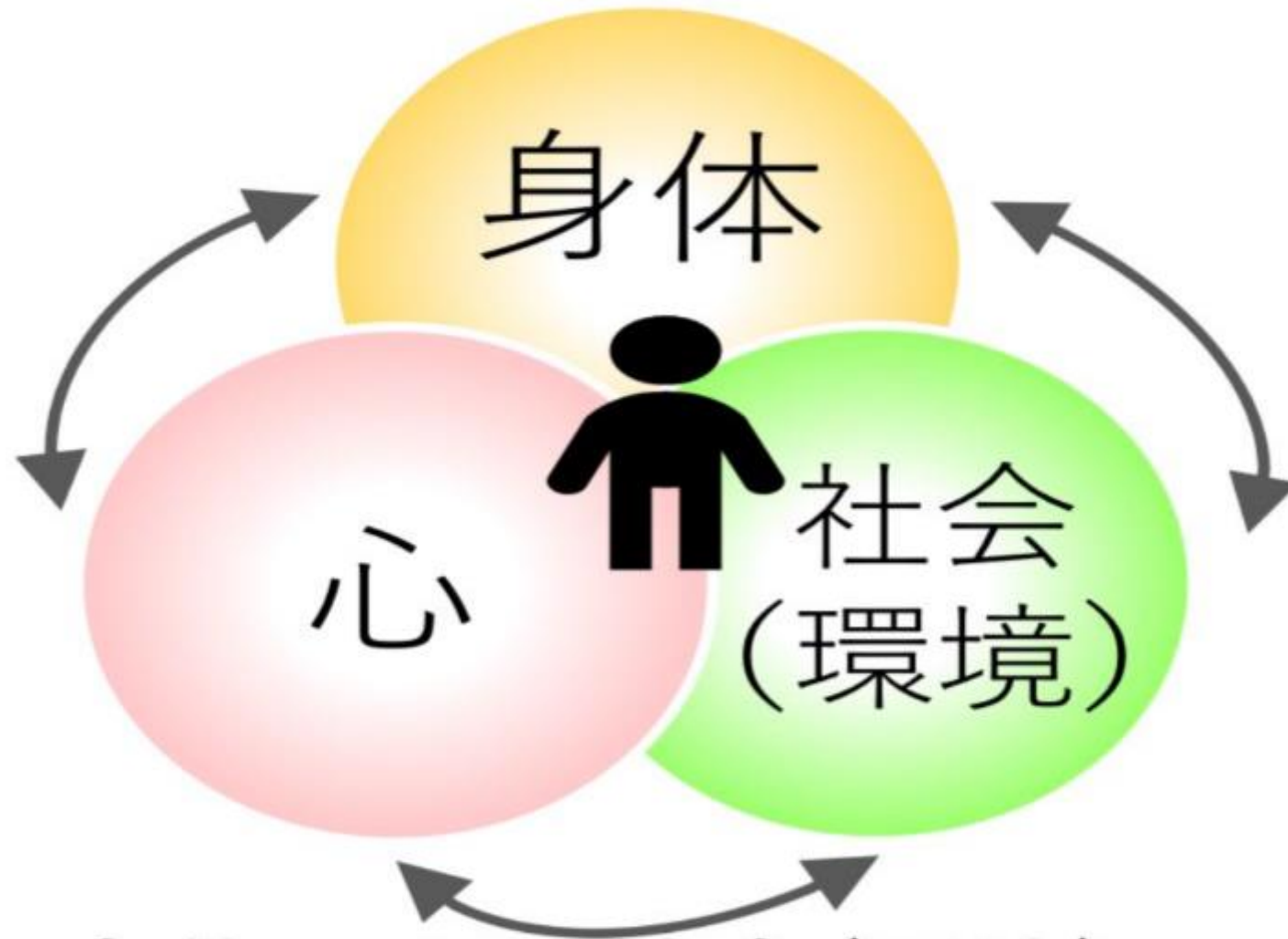
生活面や医療費などの
相談にのり
公的支援につなぐなどの
お手伝いをします。

ソーシャル
ワーカー

それぞれの分野の専門家が チームで患者とその家族を支援



心理・社会的アプローチとは・・・



主な取り組み内容

1 漸進性弛緩法（ぜんしんせいしかんほう）

⇒ ゆっくり、身体の緊張状態をゆるめていくこと

主な取り組み内容

2 呼吸法（マインドフルネス）

⇒息をゆっくり吐いてから、少し止めて、ゆっくり息をすう

※「今、この瞬間に」注意を向けながら腹式呼吸を行う

「笑いヨガ・体操について」

・ヨガとは・・・

⇒**こころと体の統合や調和のための実践法**

心身の健康 ストレス解消などで広く実践されている

・参考として

★日本笑いヨガ協会 会長：高田佳子氏

資格等：一級建築士 老年学修士 NHK「あさイチ」他テレビ出演

★早稲田大学文化構想学部 宮田裕光教授

専門：身体心理学 心身論 マインドフルネス等 博士（文学）

※笑い学研究：「無条件の笑い」とヨガの呼吸法や体操

主な取り組み内容

3 ナラティブ（物語、小さな声）・アプローチ

⇒患者さんが、どのような人生を歩んで来られたのかについて、語り（言葉・表情・しぐさ等）に耳を傾けること



緩和ケアってなんだ？

緩和ケアの定義

- 緩和ケアとは、**生命を脅かす病**に関連する問題に直面している**患者とその家族のQOL**を、痛みやその他の身体的・心理社会的・スピリチュアルな問題を早期に見出し的確に評価を行い対応することで、苦痛を予防し和らげることを通して**向上させるアプローチ**である

WHO（世界保健機関） 2 0 0 2

大切な人ががんになったら、 自分には、何ができるのか？

全部立派な緩和ケア！！

- 寄り添うこと
- 話を聞いてあげること
- 頑張れと言わないこと
- その人がしたいことや希望を聞くこと
- 外出できるときは、一緒に外に出ること
- そばにいて、隣で笑顔で話しかけること
- 相手が泣いているときは、ただ黙ってそばにすること
- 少しでも不安を和らげてあげるようにお手伝いすること

なぜ緩和ケアが
必要なのだろう



なぜ緩和ケアが必要なのだろう

緩和ケアがあるときとないときの
体や心の状態を想像して考えよう

痛みによる
気力や体力の消耗を
防ぎ治療に取り組む
力がわく。

治療中も
自分らしい生活を
続けることが
できる。



緩和ケアの開始

緩和ケアは治療と並行して
がんと診断されたときから行われる



がんに対する治療と並行して緩和ケアを行い、状況に合わせて割合を変えていく。

「がんの治療と緩和ケアの関係」
(厚生労働省「緩和ケア」を基に一部改変)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/gan/gan_kanwa.html

川口市立医療センター

緩和ケア病棟とは・・・

理念

緩和ケアを通して患者や家族の思いを可能な限り
尊重しその人らしい生活を送れるように支援する

**家族や友人と
よい関係でいる**



人として大切に
されている



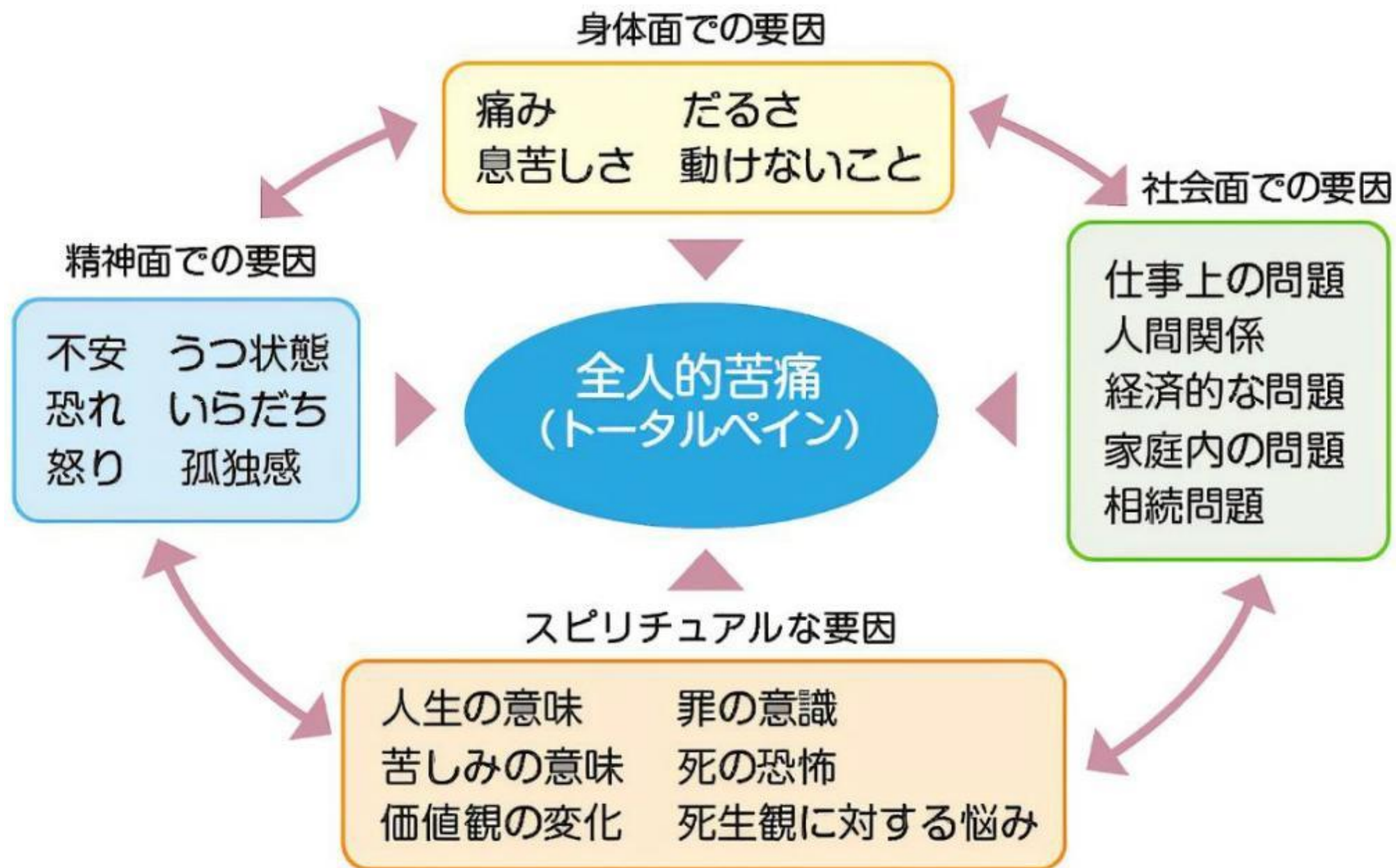
個別性



落ちついた環境で過ごす



全人的苦痛（トータルペイン）をもたらす背景



振り返り

☑️ がん患者とその家族に対して苦痛を和らげるよう支援することが大切である。

☑️ 緩和ケアは治療と並行してがんと診断されたときから行われる。

がん教育プログラム

モジュール

9

がん患者と共に 生きる社会

文部科学省 がん教育推進のための教材
「9 がん患者への理解と共生」対応

突然ですが、みなさんに質問です！

家族	友達
健康	お金
趣味	学校

考えてみてください

大事なものを失ったあと、
どんな人生がまっているのでしょうか？

考えてみてください

- 病気になると大切なものを少しずつ手放すことになります
- 手放すものは、自分で選べるとは限りません
- 大切なものを手放した後も、人生は続きます
- この気持ちを少しでも理解してくださいね

がん患者さんへの接し方

みなさんだったら、どうしますか？

がん患者さんの苦悩とは？

- ・自分は、これからどうなっていくんだろう？
- ・自分は、これからどうすればいいんだろう？



正解などない

- ・苦しんでいる人の思いに関心を寄せること
- ・どうして、そう思うんだろう？
- ・自分だったら、どう思うかな？

がん患者の思い・望み、求めているもの

友人という時間は、
病気とは何の関係もない
自分でいられる時間です。

何でもない話をして、一緒に笑って、
共に過ごすことで、「患者」としてで
はないこれまでどおりの「自分」を取り
戻せるような気がします。

さいごに

One and Only

大切な命

リレー・フォー・ライフ・ジャパンさいたま実行委員会

副実行委員長 藤野信子氏（令和7年11月 本学講演資料より引用）

連携の意義について

- 1 がん教育は、学校とがん体験者の協働作業
 - ・各学校のニーズ（教育課程等）を踏まえること
 - ・関係者同士の意見交換やすり合わせ

- 2 がん教育は、「知識-対話-内省」の教育モデル
 - ・生きがいや人生の価値について考える大切な時間
 - ※不条理さや葛藤に向き合う

がん体験者としての思い

1 自分のいのちを大切に

- ・2度の手術を経験して
- ・内観教育（内観療法）の視点

3つの項目について年代順に具体的な事実を振り返る自己探求法
（①してもらったこと ②してあげたこと ③迷惑をかけたこと）

2 他者の痛みを自分の痛みとして

- ・想像力と創造力
- ・対話を通じた共感力の育成

ご質問について

1 小学校（養護教諭）の先生より

- ・がん教育の必要性を学校長や職員間で共通理解を進めていくためには？
- ・埼玉県では「生命（いのち）の安全教育」を推進しているのに！

⇒「逆世代教育」としてのがん教育の役割

※伊勢崎市民病院緩和ケア科部長 廣野正法先生

（令和6年・日本緩和医療学会ポスター発表）

2 高等学校（養護教諭）の先生より

- ・外部講師に依頼する場合には、クラス単位または学年単位のどちらの実施方法が望ましいのか？

⇒クラス単位：対話重視 学年単位：最新の情報提供

⇒双方のメリットを状況に応じて選択してもよいのではないか



川口市マスコット
きゅぽらん

ご清聴ありがとうございます

ございました